

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年05月17日

計画の名称	大和市域の大規模盛土造成地の調査（第2期）（防災・安全）												
計画の期間	平成30年度～令和03年度（4年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	大和市												
計画の目標	大規模盛土造成地の変動予測調査（第一次スクリーニング）で抽出された大規模盛土造成地の第二次スクリーニングを効率的かつ確に実施するため、優先度評価を実施したうえで、第二次スクリーニング計画を作成する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	17	A	17	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H30当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (R3末)
1	第一次スクリーニングで抽出された大規模盛土造成地49箇所について、優先度評価を実施し第二次スクリーニング計画を作成する。 第一次スクリーニングで抽出された大規模盛土造成地に対する優先度評価実施箇所数	0箇所	0箇所	49箇所

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
市街地整備事業	A13-001	宅地耐震	一般	大和市	直接	大和市	-	-	大規模盛土造成地の変動 予測調査	第二次スクリーニング計画の 作成(49箇所)	大和市						17		-
											小計						17		
											合計						17		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
大和市内部で事後評価を実施	令和4年度
	公表の方法
	市のホームページに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	第一次スクリーニングで抽出された大規模盛土造成地（49箇所）について、国のガイドラインに基づいた1次評価及び盛土末端部に着目した2次評価などによる優先度評価を行い、優先度の高い盛土について安定計算を行うとともに、有識者に意見を伺った上で、盛土全体の滑動崩落の恐れは小さいとの判断に至った。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
第一次スクリーニングで抽出された大規模盛土造成地（49箇所）について、第二次スクリーニング計画の作成を行い、優先度ランクの高い盛土について、有識者に意見を伺った上で、盛土全体の滑動崩落の恐れは小さいとの判断に至った。 以上のことから、第二次スクリーニングを直ちに実施する予定はなく、今後国が示すとされている経過観察マニュアルや、擁壁の健全性の評価方法に従い、大規模盛土造成地全箇所の状況変化を確認していく予定である。経過観察を実施する中で必要が生じた場合に第二次スクリーニングを実施することになるが、現時点では第二次スクリーニングを実施すべき箇所は無いと判断している。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	49箇所
	最終実績値	49箇所